

愛媛県立図書館利用案内

★本を借りるとき★

- 1.カウンターで「利用カード」を作りましょう。
 - ・愛媛県在住・在学の方は、だれでもカードを作ることができます。
 - ・本人の住所確認ができるもの（生徒手帳や保険証など）が必要です。
- 2.本は、**5冊まで3週間**借りられます。
 - ・カウンターに、借りたい本とカードを出してください。

★本を返すとき★

- 1.返す本をカウンターに出してください。（カードはいりません。）
 - ・次の予約が入っていない場合、延長ができます。
- 2.図書館が閉まっているときは、玄関外の返却ポストに入れてください。

★本を探すとき★

- 1.図書館の検索用コンピュータで探すことができます。
（書名や著者名で検索できます。）
- 2.インターネットや携帯電話から探すこともできます。
※分からないときには、カウンターでたずねてください。

★本を予約するとき★

- 1.予約カードに必要事項を記入して、カウンターに出してください。
- 2.パスワードを登録すると、インターネットや携帯電話から予約することもできます。
※パスワードの登録は、カウンターで申請してください。

愛媛県立図書館

〒790-0007 愛媛県松山市堀之内
TEL:089-941-1441(代) FAX:089-941-1454
<https://www.ehimetosyokan.jp>



★開館時間★(火～金) 9:40～19:00
(土日・祝日)9:40～18:00
(子ども読書室は17:00まで)

★休館日★ 月曜(祝日の場合は直後の平日)、館内整理日(月末、
年末年始、特別整理期間(3月中10日以内で館長が定める日))

携帯サイト <https://www.ehimetosyokan.jp/winj/mobileopac/top.do>
スマートフォンサイト <https://www.ehimetosyokan.jp/winj/sp/top.do>

愛媛県立図書館 YAコーナー

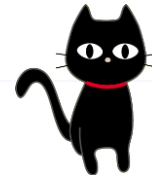
YAつうしん

Vol.57 2018.10



★YAコーナー展示★10月～11月

わかる はまる
しみる ことば



★新刊案内★

- ☆『退屈をぶっとばせ!自分の世界を広げるために本気で遊ぶ』
Joshua Glenn, Elizabeth Foy Larsen/著 ちりり・ジャパン
- ☆『人間の条件 そんなものない 増補新版』立岩 真也/著 新曜社
- ☆『この歴史、知らなくてすみません。47都道府県・感動の日本史』
太田 奈緒、河合 敦/著 PHP研究所
- ☆『人間の偏見 動物の言い分 動物の「イメージ」を科学する』
高槻 成紀/著 イースト・プレス
- ☆『100年後の世界 SF映画から考えるテクノロジーと社会の未来』
鈴木 貴之/著 化学同人
- ☆『ゴビ 僕と125キロを走った、奇跡の犬』
ディオ・レナード/著 ハーパーコリンズ・ジャパン
- ☆『物語を忘れた外国語』黒田 龍之助/著 新潮社
- ☆『放課後ひとり同盟』小嶋 陽太郎/著 集英社
- ☆『ありえないほどうるさいオルゴール店』瀧羽 麻子/著 幻冬舎
- ☆『星ヶ丘高校料理部 偏差値68の目玉焼き』樋口 直哉/[著] 講談社

わかる はまる しみる ことば

詩、短歌、俳句、名言などの本を集めました。
元気の出ることばや心にそっと寄り添うことばが、あなたを待っています。

『101人が選ぶ「とっておきの言葉」』

河出書房新社／編 河出書房新社

目覚めの一冊におすすめ。なんとなく気分が乗らないとき、迷ったとき、あと5分寝ていたいとき、ぱっとどこかページを開いてみよう。そこにある言葉があなたの背中を押してくれる。スポーツ選手、芸能人、作家など、各界の有名人のとっておきの言葉。



『心を整える。』

長谷部 誠／著 幻冬舎

日本代表・キャプテンとして活躍してきたサッカー選手、長谷部誠。彼の強さの秘密は「心」にあった。夢をかなえるために。人生を楽しむために。明日を切り開くヒントがここにある。



『Tiger is here』

川口 晴美／著 思潮社

子どものころからマンガやアニメが好きだった。その世界を、いつか詩に書きたい。願いは「ことば」という形をとり、心の中にあつた物語のかけらが現実の街に現れた。生まれ育った場所から架空の街へ、見えない先へ。詩の言葉は光る軌跡を描いて跳躍していく。



2018. 9. 29~11. 29

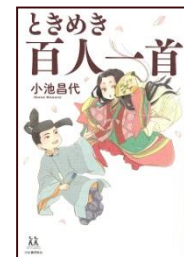
他に、『ムーミン谷の名言集』、『気ままに漢詩キブン』、『写真短歌部 放課後』、『あなたへのラブレター』、『ありがとうは僕の耳にこだまする』、『ことばのしっぽ』などを展示しています。



『ときめき百人一首』

小池 昌代／著 河出書房新社

「ときめき」を短くスパツとまとめた歌、ベスト100。
古文のきまりや難しいことばは気にしないで、同じ風景、同じ気持ちを味わってみて。ぱらぱらめくりながら「紅葉」「恋」など、今、気になっているワードの入っている歌を探してみるのもいいかも。



『生きる』

谷川 俊太郎 with friends／著
角川SSコミュニケーションズ

「生きているということ いま生きているということ」
この一文から始まる谷川俊太郎さんの詩にちなんで、「自分が思う『生きる』ということ」を書いてみよう。
そんな思い付きがSNSでどんどんつながり、ついには1冊の本に。あなたにとって「生きる」って？



メールでもご質問やご意見を受け付けます。
アドレスは、ya@libnet.ehimetosyokan.jp
(件名に「YAメールレファレンス」と入れてください。)
★お名前、連絡先メールアドレスも忘れずに入力してください。